

## 平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 048	<b>提案機関名</b> 農業技術センター畜産技術所普及指導課
<b>要望問題名</b> 浄化槽の清掃方法の確立	
<b>要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】</b> 家畜用浄化槽は畜舎排水処理に必須の施設であるが、長年使用していると底に砂が沈殿し、容積の減少・(特に組合式浄化槽では)機能の不全等で処理能力を十分に発揮できなくなる。ポンプでの除去は難しく、現状では手作業で除去をするしかない。除去作業を行う際には浄化槽の運転を止めねばならず、また作業人数も多く必要とする重労働となる。 そこで、浄化槽の運転をなるべく止めず、短期間・低コストで沈殿した砂を取り除く方法を研究願いたい。あわせて、除去した砂の性状を確認し、適切な処理・有効活用方法についても研究願いたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術所    ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター畜産技術所	<b>担当部所</b>	企画研究課
<b>対応区分</b>	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)			
<b>対応の内容等</b> ご指摘のように県内の家畜用浄化槽の汚水槽や曝気槽に堆積し、曝気不良や曝気槽容積の減少により処理能力が発揮できない事例が多数見られます。この原因としては、浄化処理の前処理工程の沈砂槽や最初沈殿槽など砂を除去する機能を有する槽が設置されていないか設置されていても槽の維持管理が悪いことから曝気槽への砂の流入が想定されます。必要に応じて前処理工程を追加する必要があります。 農家で実施されている砂の除去方法例は、曝気槽底部に水中ポンプを入れて堆積した砂を吐き出す方法や曝気槽の水を引き抜き人力で取り出す方法が行われています。 ご指摘のように曝気槽内の水を引き抜いて砂を取り出すことは、時間を要する上に人手が必要であることから大変な作業と認識しておりますが、浄化槽の浄化機能を維持する上でも非常に重要な作業であります。その際には、再稼働時に必要な活性汚泥量を曝気槽以外の槽を準備し移し替えるなど事前準備が必要ですので個別にご相談下さい。 また、曝気槽内の砂を引き抜く方法や除去した砂の活用方法などの情報収集を図り、情報提供に努めたいと思います。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
<b>備考</b>			